

「羽ばたく女性研究者賞」授賞式

国際的活躍期待、理研の藤代有絵子さんら3名表彰

第4回「羽ばたく女性研究者賞（マリア・スクウドフスカリキユリー賞）」授賞式が6月5日、都内の駐日ポーランド共和国大使館において開催された。

同賞は、科学技術・イノベーションの創出に向けて女性研究者の活躍を推進する科学技術振興機構（JST）と駐日ポーランド共和



受賞した(左から)吉本さん、藤代さん、鄭さんとミレフスキ大使



下宮妃殿下、高円宮妃殿下、藤代さんは、今回の受賞について「このような大変名誉ある賞を受賞できて光栄に思うと同時に、今、子育てと研究を両立しているところなので非常に励みになった」と喜びを語った。

国大使館によって2021年度に創設されたもの。日本の女性研究者のより一層の活躍推進に貢献することを目的に、国際的に活躍が期待される若手女性研究者を表彰している。今回は、最優秀賞に藤代有絵子さん（理化学研究所創発物性科学研究センター／同開拓研究所極限量子固体物性理研ECL研究ユニット理研ECL研究ユニットリーダー）、奨励賞に鄭麗嘉さん（スタンフォード大学医学部遺伝子学科博士研究員）、吉本愛梨さん（スタンフォード大学生物学科日本学術振興会海外特別研究員）の3名が選ばれた。

授賞式では、パヴェウ・ミレフスキ駐日ポーランド大使や橋本和仁JST理事長らから挨拶があった。また、高円宮妃殿下もご臨席され、「皆さまには、世界に羽ばたいていただき、次の世代の若い研究者・科学者のロールモデルであっていただきたい」と述べられた。その後、高円宮妃殿下、ミレフスキ大使、橋本理事長らから賞状等が授与された。

式典前には受賞者へのインタビューが行われ、一児の母でもある藤代さんは、今回の受賞について「このような大変名誉ある賞を受賞できて光栄に思うと同時に、今、子育てと研究を両立しているところなので非常に励みになった」と喜びを語った。